

# 子育て・少子化対策

【資料2①】

伊賀流自治の視点からみた各主体の役割	
市民(団体)	<ul style="list-style-type: none"> <li>●子どものいる家庭だけでなく、あらゆる家庭、団体が一体となって子育て支援の取り組みを進めます。</li> <li>●子育てに対する負担や不安、孤立感を和らげるため、子育てのネットワークづくりに努めます。</li> <li>●企業(事業者)は、子どものいる家庭が仕事と子育てを両立できるよう、ワーク・ライフ・バランスの推進に努めます。</li> </ul>
地域	<ul style="list-style-type: none"> <li>●「みんなで子どもを見守り・育てる」という意識を高め、子どもの見守り体制を整えます。</li> <li>●気軽に相談できるよう、さまざまな体験活動や交流活動等の提供に努めます。</li> </ul>
市(市政再生の視点)	<ul style="list-style-type: none"> <li>●さまざまな機関と連携し、子どもと子どものいる家庭を見守る体制づくりとともに、保護者が気軽に相談できる体制づくりに取り組みます。</li> <li>●児童虐待やDV等、命にかかわるケースについては、専門職が、必要な情報を入手し適切な判断をするなかで、迅速に対応するため、専門職を配置します。</li> </ul>

子育て・少子化対策 こどもを安心して産み、育てることができる

成果を示す指標 (KPI)	指標の説明	現状値			目標値
		(R3)	(R4)	(R5)	(R6)
こんにちは赤ちゃん訪問率	出生件数に対し赤ちゃん訪問を実施した率 (%)	100	100	100	100
伊賀市で今後も子育てをしていきたいと思う乳幼児の親の割合	1歳6か月児健診で実施する「生活アンケート」から子育てしていきたいを選んだ回答者の割合 (%)	93.6	91.3	91.1	95.0

## 【資料2②】

事業名	事業目的、内容	R4年度実績	R5年度実績
不妊治療費助成事業	妊娠出産を望み不妊治療を受ける者に対する治療にかかった費用の一部を助成します。 令和4年度より不妊治療が保険適用となったことから、令和5年度より自己負担分の一部を助成しました。	不妊治療費助成申請 60件 不育治療費助成申請 3件	不妊治療費助成申請 202件 不育治療費助成申請 10件
母子健康手帳の交付	母子健康手帳の使用方法や妊婦健診、乳児健診の受診券についての説明を行います。 また、個別面接により健康相談や栄養相談を実施します。担当保健師による継続的な支援をします。	交付時には、保健師による個別面談を行いました。(交付数 445件)	交付時には、保健師による個別面談を行いました。(交付数 455件)
妊婦一般健康診査	安心安全な妊娠・出産のために定期的に妊婦健康診査を受診できるように、14回分の公費負担での健康診査の機会を設けます。	延べ受診者 5,331人	延べ受診者 5,101人
ウェルカムベビー教室	妊婦が夫や家族とともに参加し妊娠出産に関する講話、妊婦ジャケット・沐浴などの体験と、出産や育児についての不安の軽減につなげます。	年間 8回実施 参加者数 64組(124人)	年間 12回実施 参加者数 74組(147人)
育児体験教室	妊娠中の不安を解消し、健やかな出産、育児につなげることを目標に、乳児への関わり方について実際の手技を体験し、産後の育児へのイメージをもってもらい妊婦の不安軽減をはかります。	年 10回 実施延 28組(34人)	年 11回実施 延 29組(38人)
妊婦・乳幼児訪問	家庭訪問により、身体計測、発達チェック、栄養や育児相談・指導、養育支援などを行います。必要に応じて関係機関と連携をとり継続的に訪問支援を実施します。	養育支援訪問 183件	養育支援訪問 179件
子ども・子育て利用者支援事業	妊婦や子ども及びその保護者等が安心して子育てができるよう、相談や助言等を行い切れ目のない支援を実施します。	妊娠期から子育て期までの支援計画を策定するとともに、情報提供や相談支援を実施した。	妊娠期から子育て期までの支援計画を策定するとともに、情報提供や相談支援を実施した。
新生児聴覚検査	新生児を対象とした聴覚スクリーニング検査を実施し、聴覚に関する異常の早期発見・早期療育につなげます。	受診者数 376人(84.5%)	受診者数 369人(88.9%)

事業名	事業目的、内容	R4年度実績	R5年度実績
産後ケア	出産後12ヶ月までの産婦及び新生児で支援者がなく育児不安がある母子に対し宿泊・通所・家庭訪問などにより育児支援を実施します。	訪問型 4件 宿泊型 4件 通所型 1件	訪問型 3件 宿泊型 3件 通所型 0件
産婦健診	出産後間もない時期の産婦を対象とした健康診査を実施するところにより、産後うつ予防及び早期発見するとともに必要な支援につなげます。	年間受診者数延 838人(96.0%)	年間受診者数延 802人(96.6%)
こんにちは赤ちゃん訪問	出生1～2か月児宅を家庭訪問し身体計測、発達チェック、栄養や育児相談・指導、健診、相談、教室等の紹介やその他の制度(予防接種等)の説明を行います。 子育てについての悩みを聞き不安の軽減に努めます	保健師・助産師による訪問を実施。 訪問件数 476件(訪問率 100%)	保健師・助産師による訪問を実施。 訪問件数 415件(訪問率 100%)
乳幼児相談	育児への不安の軽減やよりよい育児環境づくりを支援するため子育てについて相談できる場を提供します。	市内3か所で 60回 延参加者数 504人	市内3か所で 48回 延参加者数 653人
離乳食教室	離乳食について、講義・実習を通して知識を身につけてもらいます。	年間 18回実施 延べ参加者87組 (託児 63人)	年間 18回実施 延べ参加者101組 (託児 60人)
乳児一般健康診査	乳児の発達の節目にあたる生後4ヶ月、10ヶ月時に健康診査を実施し、疾病などの早期発見につなげます。(医療機関委託)	4か月健診受診者 492人(受診率 100%) 10か月健診受診者 490人(受診率 93.3%)	4か月健診受診者 387人(受診率 100%) 10か月健診受診者 416人(受診率 93.5%)
1歳6ヶ月児健康診査	1歳6ヶ月時に健康診査を実施することにより運動機能の遅れや、精神発達の遅れなど障がいをもった児を早期発見し、適切な指導・早期治療につなげます。また、育児相談の場とします。	年間17回実施 受診者数 515人 (受診率 98.8%)	年間17回実施 受診者数 488人 (受診率 100%)
親子ふれあい教室(健診事後フォロー教室)	1歳6か月健診で経過観察になった児とその保護者に対し、発達に課題を抱える児の保護者に児との関わり方や発達に関する知識の普及と心理士等が相談に応じ育児不安の軽減につなげます。令和5年度から「親子ふれあい教室」に事業名を変更しました。	年間 18回実施 98組 200人	年間 12回実施 54組 113人
2歳児相談	1歳6ヶ月児健康診査時に身体、言語、行動、精神発達面などで経過観察となった児について、2歳の時点で発育、発達チェック、心理相談、育児相談や栄養相談を実施します。	年間 12回実施 受診者数 145人 (受診率 81.5%)	年間 12回実施 受診者数 145人 (受診率 88.9%)
3歳児健康診査	3歳6ヶ月時に健康診査を実施することにより、運動・視聴覚・精神発達の遅延などの障がいをもった児を早期発見し、早期治療・療育につなげます。また、育児相談の場とします。	年間18回実施 受診者数 503人 (受診率 98.1%)	年間18回実施 受診者数 532人 (受診率 100%)

事業名	事業目的、内容	R4年度実績	R5年度実績
親と子のよい歯コンクール	3歳児健診において「う歯」のない親子のコンクールを実施し口腔衛生の重要性を啓発します。	実施なし	実施なし
思春期保健事業	乳児とのふれあい体験や赤ちゃんの誕生・性感染症等性についての学習する教室を小中学校と連携して開催します。	実施なし	実施なし



気軽に相談できる  
身近な相談機関

- ・子育て支援室
- ・保育所・幼稚園
- ・認定こども園
- ・子育て支援センター
- ・社会福祉協議会

密接な連携



妊産婦

子育て世帯  
(保護者)

子ども



伊賀市こども家庭支援課 (こども家庭センター)

「こども家庭総合支援拠点」「子育て世代包括支援センター」「こども発達支援センター」

電話：22-9609

業務：児童虐待防止、保護者及び妊産婦の相談、子ども発達相談  
保健指導・健康診査、サポートプランの作成等

重要連携機関

- ・教育委員会
- ・小・中学校
- ・伊賀児童相談所
- ・伊賀・名張警察署
- ・市関係各課 等

密接な連携



様々な資源による  
支援メニュー



医療機関

病児保育

ショートステイ

ファミサポ

障がい福祉サービス事業所

第3の居場所

その他各種  
サービス

放課後児童クラブ

こども食堂

伊賀市要保護児童及び  
DV対策地域協議会

# 伊賀市 こども家庭支援課 (こども家庭センター機能)

こども家庭支援課は、妊産婦・子育て世帯・こどもが  
気軽に利用できる身近な相談機関です

伊賀市 こども家庭支援課  
☎ 0595-22-9609(こども・家庭関係)  
0595-41-1556(妊産婦・母子保健関係)  
0595-22-9627(こどもの発達関係)

伊賀市 こども家庭支援課 [検索](#)

☎ 518-8501 伊賀市四十九町3184番地  
伊賀市 こども家庭支援課

2024年5月 発行

## 「こども家庭支援課」 (こども家庭センター機能)とは？

### 気軽に利用できる身近な相談機関です

すべての妊産婦や子育て世帯、こどもに対し、一体的に相談支援を行う機関です。妊娠から出産、子育てに至るまで気軽に相談できるワンストップ窓口として、それぞれの家庭に寄り添った支援や対応につなげていきます。

### さまざまな機関と連携し相談・支援を行います

子育て家庭の中には、「どこに相談行けばいいの?」「誰に相談すればいいの?」と思われる方も多くいます。さまざまな施設や相談機関と連携して悩みや問題を解決していきます。



### 伊賀市こども家庭支援課

「こども家庭総合支援拠点」「子育て世代包括支援センター」「こども発達支援センター」

業務：児童虐待防止・保護者及び妊産婦の相談 こども発達相談  
保健指導・健康診査 サポートプランの作成 等

### 様々な資源による 支援メニュー



## こども家庭支援課では こんな支援を行っています

### 妊産・出産期 妊娠・出産にあたり生活や体調について不安がある

妊娠するとホルモンのバランスが大きく変化するため、身体的・精神的な不調をきたしやすくなります。先の見通しやイメージが分かりにくく不安が募りやすいものです。

- 【おもな事業内容】
- 母子健康手帳の交付
  - 妊婦・産婦健診、県外助成
  - こんには赤ちゃん訪問
  - 産後ケア

### 育児期 夜泣きなどのこどもの育ちや、家庭状況に不安がある

慣れない育児で疲労が蓄積し、「気分が落ち込む」「イライラしやすい」「眠れない」などの症状を伴うこともあります。また家庭の状況変化等、悩みや困りごとがあれば早めに相談することが、問題解決の糸口になります。

- 【おもな事業内容】
- 家庭訪問
  - 乳幼児相談
  - 離乳食教室
  - 乳児・幼児健診

### 幼児期～18歳 こどもの関わり悩んでいる、発達心配とを感じる

こどもが成長するにつれて、さまざまな新しい悩みが出てきます。発達障害等が心配なとき、言うことを聞かなくて疲弊してしまったとき、子育てに行き詰まりしんどくなった時など、こどもや家庭の悩み相談に応じています。

- 【おもな事業内容】
- 児童家庭相談
  - 子育て短期支援・世帯訪問支援事業
  - ひとり親・女性相談
  - 虐待や行動に関する相談 など

### そのほかこんな相談にも応じています

- ★こどもがひきこもっている
- ★予期せぬ妊娠してしまった
- ★近所に虐待を疑われることがある
- ★家族の世話をするヤングケアラーの子を支援して欲しい など